

健康長寿に係るイチオシ事業(概要版)

生活習慣の改善に係る相談

事業概要

生活習慣病予防として考えられる全ての取組みを実践してきました。まず、健診項目にクレアチニン、eGFR 算出、血清尿酸(腎へのリスク、重症度を知るため)、尿潜血(糸球体疾患の発見)を加えました。健康相談事業では、随時尿中塩分濃度の測定や、適塩味噌汁の試飲、味噌汁塩分濃度測定、ソルセイブ(味覚体験)を実施しています。食育コーナーでは糖・塩・脂について、見てわかる楽しい掲示になるよう工夫を凝らしています。平成 29 年度からは 24 時間尿中塩分測定を広めています。令和元年からはパパママ学級や母子健診会場で、適塩味噌汁の試飲を始めました。

事業内容(参加者数・予算等)

● 参加者数・予算

随時尿中塩分濃度測定は年間約400人

24時間尿中塩分測定令和元年12月現在までで102人 予算なし

● 見える化

摂取している塩分は見えないが、尿中に排泄する塩分は何グラムかが見える。

● 事業後のフォロー

半年後や 1 年後に同じ検査を実施すると、塩分排泄量が減少している。

降圧目標の達成や尿蛋白(-)につながっている。

事業効果

全国との比較 (人口10万人対の透析患者数)

